

磐城の民聲

發行日 一、十一、廿一 (毎月三回)
編輯兼發行人 齋藤岳洞
福島縣磐城町南町七十八
發行所 磐城之民聲社
廣告料 普通二行五十錢
特別 一行七十錢
一、十、廿月廿錢送料共

論壇

平町會戰跡 展望

社長 齋藤岳洞

町民より異常の期待を以て望まれた町議の選挙も兎に角終つた。吾等はその戦跡を静に見て賢明なる町民諸氏に一言呈してみたい。衆議員でも縣會の場合でも吾等は全くその何等かの方法を以て行つた、彼等ブルジョア階級の買収運動を目前に直視してその當選せる議員の人々の個人なり或ひは政黨の名に於て披瀝する主義綱領とやらを見る時、あまりに吾々國民の生活の現在と離れてゐるのに悲しまざるを得ない。むしろ立候補當時の政見内容や態度のそれと比較對照して全く驚かざるを得ないものだ。選挙民は斯くして悪戯兒の親の愚弄視する如く繰り返さるゝ事幾度であらう。

數年來分裂の石城民政平町會合流す 三日夜町議會合席上で

數年來石城郡民政黨では或る種荒川(淺)、吉田(實)、緑川、佐の問題から分裂の状態であつた(幸)、小松、新井の民政系町が、斯くては徒らに政友の跳梁會議員諸氏參集して從來の感情に委するのみなので先月三十日を一掃して白紙の立場より合同行れた平町會議員選挙から合流する事に決し新に同成會なるもの機熟し、その前提として平町の組織して一途町政刷新にま政を中心一致の行動をとるべし進すると共に全郡下の握手に産婆役となり三日午後八時三十分初めて數年振りで水入らずの宴分より平町末廣亭に於て萩原、野崎、吉田(五)、馬目、吉村、

補欠縣議民政黨は 草野三郎氏に決定 或は草野氏獨占か

赤坂縣議死亡後當然行つゝ三區の補欠戦に對しては政、民何れも一蹴するの一大勇猛心をもちねばならぬ。理想的選挙それはあまりにも古き言葉ではあるが、然して現實に於て如何に政治的生活、即政治、否生活は即選挙に手腕を有する者たりとも経済的である事を熟考されて、よりよ的に惠まれる者は全然その天つき自分の生活のために大地に自分の力を發揮する事さへ出來得ず往つかりと根ざした足どりで望ま々にして吾等は人格力量の士の事を切望する。立候補する立候補した場合等見るからに悲れる事も眞に國家のため市町村政の遺憾なる苦杯をみたるの多々ある。諸氏も眞に粉骨碎身徒らに名利の爲めに遺憾に想ふ。記者は今吾等を呈して賢明なるの欲望のみに吸寄せせよ立憲的に記者は今吾等を呈して賢明なる堂々民意を代表とした議員、よ至町民諸君の政治的に自覺せらるべき市町村民の意を体した議員、たれん事を切望すると同時に一大の覺悟をもつて望まれたなら猛省をうながすものなり。必ずや議員の素質は勿論政黨屋

恩給即時立替

平南町 柏原

その選挙に腐心してゐたが、民政黨では此度同黨の長老草野三郎氏を推すことに決定したが、政友の人選難から或ひは民政黨の獨占ではなからうか

磐城共濟病院の經營者は 石山博士

磐城共濟病院院長醫學博士石山謙郎氏は此度同病院は從來共濟會に經營されてゐたものが同氏の手に經營される事に決定した。

平町の初町會

議長、副議長選定
平町初町會は六月五日午後一時平町第一小學校講堂に於て開會され、議長並に議長代理投票決選され、及各役員指名決定をみた。その決定せる委員は左の諸委員である。

- 議長 井上茂作氏、議長代理野崎滿藏氏、其他學務委員五名、土木委員七名、警備委員七名、水道委員七名、第三小學校敷築臨時委員十二名、第四校敷地交渉委員十一名の決定さる



鐵火石

町政の遂行を計るためにのみ

考る不徳町議もゐる、彼には道徳も倫理もない。彼には驛前方面の某大商店の主人七轉七倒耐ざる努力こそ君の將來の大成する試練。其旅館の御主人店員を解雇するのは營業方針によるも豫告なく非道徳の方法を敢てする。天罰觀面。或る鐵工業者違法行為に驚き町の有志をして中介させることは可々大笑。聖賢ソロモンは「汝なまけ者よ蟻にゆけ」と云た、味べき言葉だ。カフエーが最近風俗を亂してゐる。某カフエーでは過日五百圓計りまき散した東京方面の客のあつたとか、當然それに附隨する不徳行為はなきにその筋の御注意を乞ふ。

平町會議員 當選御禮

- 花澤久一郎 (順不同)
- 川崎文治
- 吉田金松
- 高橋龜松
- 多田井笑次郎
- 松崎長太郎
- 佐々木龍若
- 酒井清
- 關内正吉
- 鈴木光一
- 堀木喜一
- 猪狩觀德
- 野崎滿藏
- 萩原義雄
- 吉村安次郎
- 吉田寅之輔
- 吉田五平
- 荒川淺次郎
- 馬目雅治
- 佐藤幸太郎
- 小松茂郎

當選御禮

加藤 藤丈 夫

內郷村

當選御禮

- 永井茂次郎
- 島田兼藏
- 生田常弘
- 內郷村

磐城共濟病院

電話 六四一 二四四番

- 院長 醫學博士 石山謙郎
- 副院長 醫學士 佐久間粹郎
- 醫學士 有馬勇二郎
- 醫學士 近日着任
- 皮膚性病科 有馬勇二郎
- 產婦人科 近日着任
- 耳鼻咽喉科 有馬勇二郎
- X光線科 石山謙郎
- 物理療科 石山謙郎
- 衛生試驗所 石山謙郎
- 藥局 石山謙郎

診察午前八時より午後五時迄

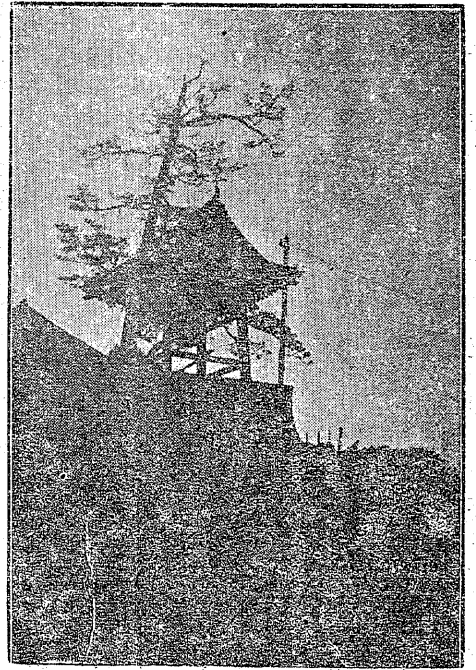
諸橋外科醫院

院長 醫學博士 諸橋鐵彌
電話 四六四番
(入院隨意)

和洋銅鐵 金物問屋 店商屋釜

平町五丁目電話九番九番

…きつ鐘の夏初…



三區の補欠縣議選には 新人關内正一氏出馬か

政友派人選の結果

赤坂縣議死亡後行はる、縣會議同氏は前二回共町會議員として補欠に政、民共の選衛將又此の度の町議選にも豫想外に行き橋んでゐたが、政友派の得票を得て當選し、その政治は結局新人にして人格識見の点的手腕は自他共に相許されたものに申分のない現町會議員にして、今度の補欠戦に出馬の聲をその政治的手腕を期待されて一度掛るや全町民一致してその關内正一氏を推す事に決定さし必勝を期待されてゐる。因にるゝであるかと推測さる。

常磐炭礦の出荷量

月々に増加する

前年同期に比し五百九十噸の増

先月は實に五万四千六百餘噸

最近著しく有卦に入つた常磐地増加し、省用で千九百九十噸を方各炭礦元山の去月二十一日か減じても尙五千七百六十二噸の三十一日までの發送高は營業激増で、前中を通算すると前年用三萬九千七百二十噸、省用一度同月より實に一萬八千二百噸萬四千九百十噸、計五萬四千六百餘噸一平均百五十噸の増加を百二十二噸で、前年同期より營示してゐる。

血迷た選挙期の 産たナンセンス一つ

平町某候補者の悲喜劇

先月三十日平町の町會議員選挙の際開票得票政を厳しく讀み上

げてゆく中、某立候補者の投票用紙の重なるにつれて同志の或る者方外にも百六十何票かを事務所に報告した、それ!!断然當選したと信じ切つて當選祝賀の用意をして運動員の御馳走は勿論他の人々の分まで整ひた!。處がその直後百六十票が六十票になつて確報が入つた。何と云ふ皮肉だ、今までの喜びは急に見るも憐なきさびしさに返り最期に運動員の一部では大立廻りさへやられたと云ふ。血迷た選挙期の産んだ一つのナンセンス。

ゆけ!!! 處女林の カフェー太陽へ

麗人諸嬢が待つてます。ある「太陽」をのぞく……その名の様に輝いたる太陽の昇るが如く、その店舗の感じと云ひ、殊に料理の美味の点では全他の追従を許さない。又美給諸嬢のサービスは如何なる階級の人々にもシツクリと好感をあたへ、麗人諸嬢はさながら春の野に舞ふ胡蝶のその様に殿方をしてその處女林の夢に酔さるゝ事、事は太陽にして初めて知る事である。若人はゆけ!!そしてその處女林に酔ひ給へ!!。

郷土の産んだ 諸橋醫學博士

平町に外科開業

石城郡平町の産んだ刀圭界の權威者で東京帝大卒業後名古屋醫大に研鑽して今日に至り同醫大に研究中脳脊髄に對する論究により博士の稱號を執り愈々その醫學的天分を發揮して花々しく郷里平町に歸郷開業する事にな

本社長 岳洞氏の出張

小作爭議其他で

本社長齋藤岳洞氏は社員二名を隨行して十五日信越方面に向て小作爭議その他の視察のため出張する豫定である。歸途は本月二十日頃。

釜屋訪問の感想 主人諸橋氏の 營業哲學をきく

感想の一部

平町五丁目「釜屋」と云ふ大をつかひで應對さるゝに記者は金物商の店舗がある。記者は少からず驚いた。日ぶらりと訪れて會見する事一多くの店員がその中に手足の様に時間余、忙し中この長時間は心に動いてゐる。將に人心を無理な時間ではあつたが、收覽術とでも云はうか、よくその一時間餘は自然にその御主の使用人の心をつかひ得る。人の談笑する中にたつた時間で時間のたつたので心地よい談笑が、その主人諸橋氏に接見し功を祈りつ、辭した。その相を想して氏の努力した過去して將來の發展を期すものと云をよく物語る。話はあらゆる方面にわたるが、よくその真

平町西洋料理組合

- 組合長 福壽軒 金子 福藏
- 副組合長 サロン 森川 泰一郎
- 會計 マルトモ食堂 半谷 壽長
- 幹事 松ヶ岡 高橋 武
- 同 益子屋 神山 傳次
- 同 一の井 箕輪 爲吉

幹事 オーク

- 同 三浦 彦一
- 同 福榮亭 佐藤 善次郎
- 顧問 丸井 昌弘
- 同 吉田 昌弘
- 同 平ガフエ

美給諸嬢の 「カフェー」 バラダイス

本社營業部では本月中旬より例年の通り暑中廣告募集を初めますから社員参上の節はよく御指導のほど御願申し上げます。

……いよのじ感
カフェー
平會館

資本金九百萬圓
株式會社 七十七銀行平支店
支店長 小原 良武
電話四一四番

株式會社 福島農工平支店
電話三六八番

便利 ◆ 確實 ◆ 親切
株式會社 常磐銀行平支店
電話三〇番・六四三番
營業所 茨城、福島、栃木 宮城、五十九ヶ所

勿來町會議員 消防組頭 小松 章
植田消防組頭 坂本 龜太郎
植田町長 土木 請負業 成瀬 巴三

植田町長 古川 傳一
五十嵐炭礦 不動澤炭礦 高階 一郎
杉山炭礦 萩原 申八

小田炭礦 萩原 申八
萩原炭礦 古市 喜三郎
古市粘土 採掘所 小野 晋平

小名濱町會議員 立花 雄七
小名濱分會長 立花 秀吉
植田町 片岡 醫院

平町簡易保險 診療所 國井 正